

Pioneer

DIGITAL

dts[®]

SURROUND

dts EXPERIENCE DVD-Video Edition
DIGITAL THEATER SYSTEMS

DVD
VIDEO[™]

dts EXPERIENCE DVD-Video Edition

DIGITAL THEATER SYSTEMS

DIGITAL dts SURROUND

dtsデジタル・サラウンドとは、カリフォルニア州北西部の丘陵地帯に本拠地を置くDigital Theater Systems, Inc.が開発した5.1チャンネル・デジタル・サラウンド

録音再生方式です。1993年の「ジュラシック・パーク」から始まったdtsデジタル・サウンドは、映画音声にデジタルディスク5.1チャンネルの新しい方式として、多くの映画に採用されています。このシステムがパワーアップし民生用規格dtsデジタル・サラウンドとなり、1998年にレーザーディスクとDVD-Videoのオプション音声として正式採用されました。dtsは圧縮方式に特徴があり、各メディアに最適な方法で記録されています。圧縮の方式は、コヒーレント・アコースティックと呼ばれ圧縮比は1/3と軽度なもの

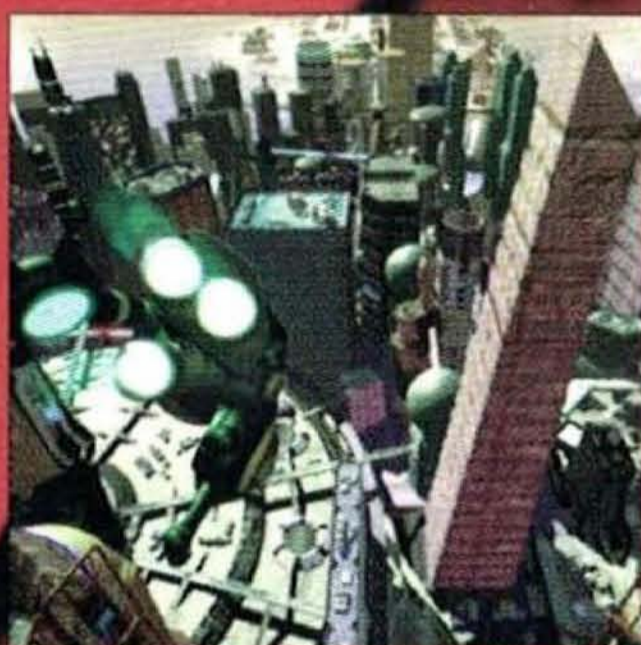
となっており、将来的には10.1チャンネルや192kHzのサンプリング周波数、24bitの量子化にも対応できるよう開発されています。

- 米国DTS本社の全面協力と多方面で活躍する麻倉怜士氏監修により実現した、dtsデジタル・サラウンドチェック機能と解説書。
- iWERKSシアター用CG作品「STEALTH」や劇場アニメ「PERFECT BLUE」等、5作品をdtsデジタル・サラウンド・リミックスした体験版を収録。



STEALTH (Mainshow)

© ExMachina / iWERKS ENTERTAINMENT
米国iWERKSシアターで公開され大好評を得た作品。全編コンピュータ・グラフィックスによるリアリティ溢れる戦闘シーンが5.1チャンネル音響の臨場感と強烈なスピード感で迫る。



DI-GIDDY

© PIONEER LDC, INC.
DVD-Video用に制作されたコンピュータ・グラフィックスによる未来都市を快走する体感映像。
16:9 映像



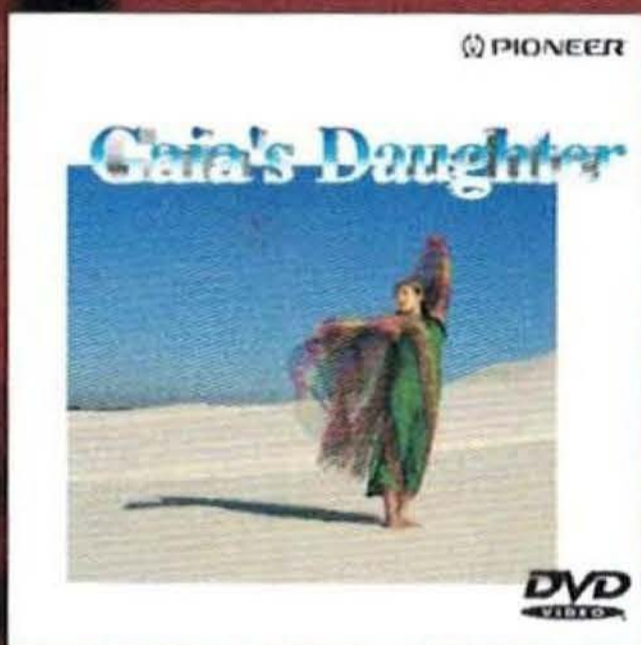
PERFECT BLUE

© 1997 Rex Entertainment Co., Ltd.
今 敏+マッドハウスの最強コンビが、大友克洋+江口寿史の協力を得て放つハイパー・クオリティなサイコサスペンス。各国の国際映画祭で絶賛を浴び、アニメーションの枠を超えたエンターテインメント作品。
ピスタサイズ
LD: PILA-99001
DVD-Video: PIBA-3001



グスコブドリの伝記

© PIONEER ELECTRONIC CORPORATION.
宮沢賢治晩年の最高傑作を5.1チャンネルサラウンドと静止画を中心にした映像で再現した、PIONEERのDVD-Videoデジタルピクチャーシリーズ第1弾。
16:9 映像 DVD-Video: PEKDV-106



Gaia's Daughter

© PIONEER ELECTRONIC CORPORATION.
バイオニアの高画質・高音質デモンストレーションソフトとして好評を得た作品。ハイビジョン撮影によるオーストラリアの大自然を豊潤な音楽で包む至高の映像詩。
16:9 映像 DVD-Video: PEKDV-108

制作協力:
Digital Theater Systems, Inc.
Universal Studios
Todd AO
ExMachina
iWERKS ENTERTAINMENT
Rex Entertainment Co., Ltd.
PIONEER ELECTRONIC CORPORATION.
EUPHONIX JAPAN
Designed by ADD

●dts surround 音声の再生には、DTS対応のDVDプレーヤーと、DTSデコーダーが必要です。

Pioneer 発売元 パイオニアLDC株式会社 MANUFACTURED BY PIONEER LDC, INC., JAPAN. MADE IN JAPAN 990325 ㊞ JASRAC

税抜 ¥6,700	PIBW-1016	41min.	片面・1層ディスク	MPEG 2	COLOR	無許諾レンタル不可
② 1:日本語 (dts ステレオ) 2:日本語 (dts サラウンド)	DTS STEREO DIGITAL dts SURROUND	4:3 16:9 LB	② NTSC 日本国内向	DVD VIDEO	複製不能	

© 1998/1999 PIONEER LDC, INC.

●このビデオグラムは、一般家庭での私的視聴に用途を限って販売されています。したがって、無断で複製、放送、有線放送、上映、レンタル(有償・無償を問わず)することは法律によって一切禁止されています。

DVD VIDEO DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。



●DTSロゴマークは、Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。●manufactured under license from DTS.

dts EXPERIENCE DVD-Video Edition
DIGITAL THEATER SYSTEMS

DVD
VIDEO

無許諾レンタル不可

JASRAC



NTSC
日本国内向

PRESENTED IN

DTS STEREO

DIGITAL
dts
SURROUND



Pioneer

PIBW-1016/片面・1層ディスク/41min./COLOR

© 1998/1999 PIONEER LDC, INC.
MANUFACTURED BY PIONEER LDC, INC., JAPAN.
manufactured under license from DTS.



驚きは目から、感動は耳から。

繊細で濃密なDTSサラウンドをDVDで、LDで味わう。



DVD/LDコンパチブルプレーヤー
DVL-H9 NEW
標準価格230,000円(税別)
自照式ジョグシャトル付GUIコントロールリモコン付属



高画質・高音質を極めたフラッグシップ、誕生。

- ドルビーデジタルはもちろん、最新シアターサラウンドシステムDTSに対応。
- 高画質再生を実現する最先端技術、コンポーネントフレームDNR搭載。
- パイオニア高級オーディオの証、Hi-Bit・レガート・リンク・コンバージョンS搭載。
- 回路設計から高音質再生を追求、左右対称オーディオ基板レイアウト採用。

製品に関するお問い合わせはパイオニア(株)お客様相談センター ☎0070-800-8181-22までどうぞ。営業時間9:30~17:00(土日祝日、弊社休日除く)

掲載の商品は、パイオニアインターネットホームページでも紹介しています。http://www.pioneer.co.jp

パイオニア株式会社



dts EXPERIENCE DVD-Video Edition
DIGITAL THEATER SYSTEMS

■ 収録内容 ■

- オープニング / dts デジタル・サラウンド・トレーラー
- DTSテクノロジー / コヒーレント・アコースティック / ホームシアター・システム
- dts デジタル・サラウンド音声チェック チャンネルチェック
..... チャンネル間位相チェック
..... 音圧チェック
..... 音像移動チェック
- 映像テスト信号 カラーバー
..... マルチバースト
..... クロスハッチ
- STEALTH (Mainshow) 4:3
- DI-GIDDY 16:9*
- グスコブドリの伝記 16:9*
- Gaia's Daughter 16:9*
- PERFECT BLUE 16:9*
- エンディング

DTSとは何か

●DTSとは何か

dts(デジタル・シアター・システムズ)は、5.1チャンネルのデジタル・サラウンドである。ドルビー・デジタル方式がデファクト・スタンダードとして確立した後から登場するフォーマットなのだから、そこには、後発ならではの魅力がなくてはならない。

dtsのレーゾンデールは音の良さだ。換言すると映画らしいエネルギーで、剛性感が強く、しかもリアリティに溢れる……というシネマサウンドを迫真の勢いで聴かせてくれるのがdtsである。例えばサウンドイフェクトの再現性。SEは、場面に臨場感という意味性を付与するものだが、dtsの音は太ッとい。肉厚な音で、音の粒自体がリッチで、重層的である。織り成す空気感の再現も見事だ。ダイナミックに、場の雰囲気を描き、そこには立体感まで感じられる。しかも、チャンネルの間がたっぷり音で埋め尽くされるという感覚である。セリフも太い。肉声のあの粘っこい質感が見事に再現され、まるで、スクリーンの人物の喉の奥底から声が発せられるのだ。

そんなdtsの魅力を具体的な映像作品例でたっぷり味わっていただき、同時に、dtsについて知悉し、dtsをご自宅のホームシアターで、存分に堪能していただくためのテスト信号群を収録したのが、本ディスクである。

dtsシステムの開発会社、Digital Theater Systems社(dts社)の設立は1993年1月のこと。創設者は、現在のDTS社のCEO(最高経営責任者)であるTerry Beardだ。彼は光学録音機の機材を開発するニューオプティクスという会社も経営しており、90年頃、CD-ROMに圧縮された音声信号を収録し、フィルムにタイムコードをプリント

して同期させるというシステムを考案した。

「当時、フィルムに直接デジタル音声信号を書き込む方式がすでに提案されていたのですが、そのやり方だと読み取りエラーが多くなり、安定性に欠けたんです。だから、フィルム以外のメディアにする必要がありました。そこで目をつけたのがCD-ROMです。CD-ROMならば、そんな問題は皆無ですし、世界中に向けて安価に安定供給できます。しかも、吹き替え上映の際は、その信号が記録されたROMを供給するだけでOKです。その言語用のプリントを作る必要がありません。その分、プリントコストが削減できます」。



Buzz Knudson

試作のシステムを、トッドAOの副会長(現)のBuzz Knudsonの紹介で、ちょうど『ジュラシック・パーク』を制作中のスティーヴン・スピルバーグにデモしたところ、彼は最初の音を聞くなり、すぐにその凄さを聞き取り、採用を決めた。これがdtsのシンデレラ・ストーリーの始まりであり、スピルバーグとユニバーサルをパートナーにDTS社が設立される運びとなる。その後は、トントン拍子の急成長を見せた。

1998年9月現在、世界中、15,000館以上の映画館で採用され、最も普及したデジタル・サラウンド・フォーマットとしてワールドスタンダードを確立している。dtsが映画製作者に受け入れられた最大の理由は、サウンド・クオリティの優秀さだ。映画館でデコードした音質が、ダビングシアターで仕上げられた5.1チャンネルのマグマスターのそれに、限りなく近いというのがdtsの誇りである。

トッドAOのKnudson氏によると、「かつては光学トラックのダイナミックレンジが狭いので、なるべくレンジにぎりぎりに大きな音で録音し、再生時にポリームを絞るというようなことをやっていました。その後、ドルビーNRが出てきてとても助かりました。しかし、今回の

dtsは大音量がそのまま記録でき、しかもノイズがきわめて少ないことが、大きなメリットだと思います。ひじょうにS/Nの良いマルチトラックが得られるというのが、dtsの強みですね」。

DTSは2つの会社からなる。映画・音楽録音現場と映画館へのエンコーダー/デコーダーのビジネスを行う「デジタル・シアター・システムズ」と、家庭用デコーダーの開発やパッケージソフトへの導入を担当する「DTSコンシューマー・プロダクツ」である。従業員数は約50名。本社は、ロスアンジェルス国際空港からハイウェイを北へ1時間ほど走った、カリフォルニア州アゴウラヒルズにある。ハリウッドとベルギーのブリュッセルに支社を持つ。

ではdtsは、どのようなシステムなのか。CEOのBeard氏は「dtsはコストセービングを目指した圧縮システムではなくクオリティ、ダイナミックレンジ、セパレーションにフォーカスしたものです」と言う。

dtsはデジタル圧縮のシステムだが、その圧縮比率は、わずか3:1。この比率の意味は2つある。CD-ROMにおける44.1kHzサンプリング/16ビットの2チャンネルサウンドの転送レートは約1.5Mbpsだから、6チャンネルの場合で、このパラメーターにて、この転送レートで収録しようというのと、3分の1に圧縮しなければならないというのがひとつの理由。もうひとつの理由として、適切な圧縮技術をアプライすれば、この程度の率であれば、ほとんどロスなく、オリジナルの5.1チャンネルが持つ全ての情報を収録できるということも指摘できる。

dtsの圧縮テクノロジーのメインは、サブバンド分割とADPCM適応予測符号化だ。周波数をいくつかの帯域に分け、それぞれの帯域の部分でADPCM処理を行う。これらはなにも新発明の技術ではないが、dtsの場合はそのプロセスが上手いのである。それがサブバンド分割における帯域の選び方や、その扱い方、圧縮アルゴリズムの内容である。dtsでは、その圧縮/伸張の技術をトータルで総称し「コヒーレント・アコースティック・システム」と名付けている。それにより、オリジナル音源が持つ情報

をほぼ完全に再生するということから、この方式を「ニア・ロスレス・コーディング」とも呼ぶ。

dtsのデジタル・パラメーターとしては、最大10.1チャンネル、最大192kHzのサンプリング周波数、最大24ビットの分解能まで各種のモードが可能だが、現実的には、まず5.1チャンネルのデジタル・サラウンドを、そのメインのクライテリアとする。

ドルビー・デジタルと比較すると、そのコンセプトの違いが分かる。ドルビーデジタルは映画用の音響、家庭用のDVD、LDのサラウンド音声、DVD-ROMやデジタルTV放送などの、マルチメディア時代の音声デファクト・スタンダードとしての地位を確実にしている。1~6チャンネルをサポートし、またデータ量も多様に規格化されている。

一方のdtsは、フォーマットとしては多様なモードを持つが、現実には5.1チャンネルのアプリケーションをメインとする。転送レートがドルビー・デジタルより高く、圧縮率が低いのは音質に対して最大の強みだ。転送レートはドルビー・デジタルが384kbpsもしくは448kbpsであるのに対し、dtsは1,536kbps(DVDの場合)とドルビーデジタルの3倍以上のデータ量を持つ。劇場用システムのデータレートはドルビーデジタルが320kbpsであるのに対し、dtsは1,411kbps。

DVDに搭載されるdts音声の転送レートについて述べると、サンプリング周波数48k/16ビット/2チャンネルのリニアPCM音声と同じ1,536kbpsであり、LD、CDのdts信号転送レート(1,411kbps)より少し高い。つまり、DVDのDTS音声を再生するためには、プレーヤー側のデジタル音声出力をこのデータレートに対応させる必要がある。が、98年秋以降に発売されたDVDプレーヤーはすべて、dts対応となった。

劇場用のシステムの記録方式も異なる。ドルビーデジタル方式では映画フィルムのスプロケットホールに直接デジタル音声データを記録しているが、dtsではデジタル音声データをCD-ROMに持ち、フィルム上の同期信号に応じて音声が出力されるというハイブリッドなシス

テムだ。CD-ROM1枚に100分の音声信号が記録できる。劇場に供給されるdts用ドライブは3枚のCD-ROMの再生が可能だ。



Bill Varney

「dtsフォーマットはクリエイターの思いを、そのままパッケージし、家庭にダイレクトに届けることができます」とユニバーサル・スタジオのBill Varney氏というが、dtsが、これから狙うのはホームマーケットである。まずはDVDやLDでの映画音声のキャリアメディアとしての用途が始まるが、dts社としてはもっと壮大な夢を描く。それはパソコンの音声、ゲーム、映画を同じ5.1チャンネルのデジタル・サラウンド・フォーマットでインテグレートしようというビジョンである。

ホームシアター用のdtsの活動としては、まず、AVアンプにデコーダー機能を搭載してもらうことから始まった。96年初頭にDTSデコーダーのIC開発が完了。約1年かけてその採用を多くのハードメーカーに働きかけた。同時に映画・音楽業界にもdts方式でのソフトリリースを仕掛けた。98年10月現在、英米そして日本メーカーの約25社とライセンス契約を結んでおり(うち日本メーカーは10社)、多くのメーカーから単体デコーダー、もしくはそれを内蔵したAVコントロールアンプが発売されている。日本では、97年の段階ではヤマハ1社だったが、99年1月現在、パイオニア、ソニー、ケンウッド、デンオンの各社から対応アンプが発売されている。

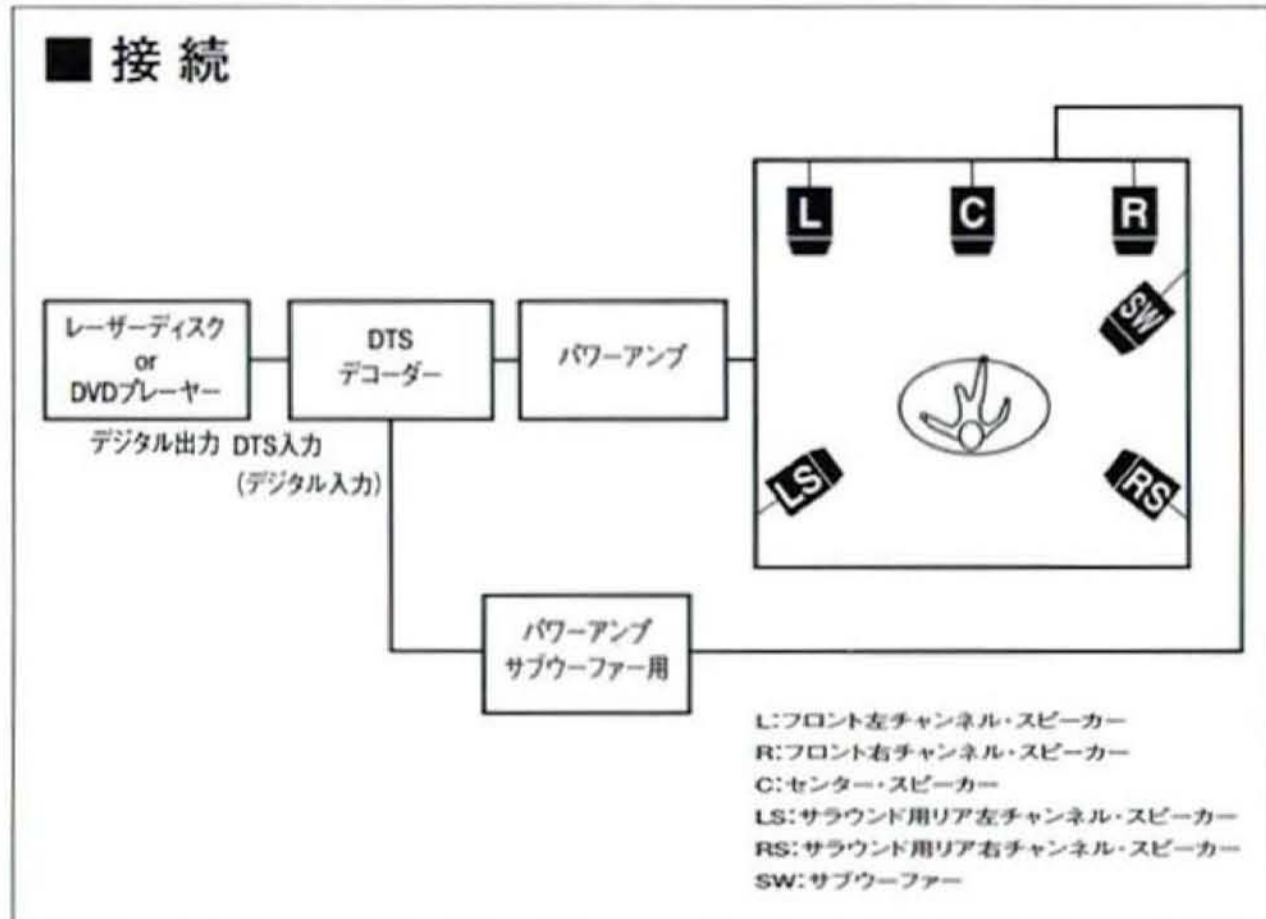
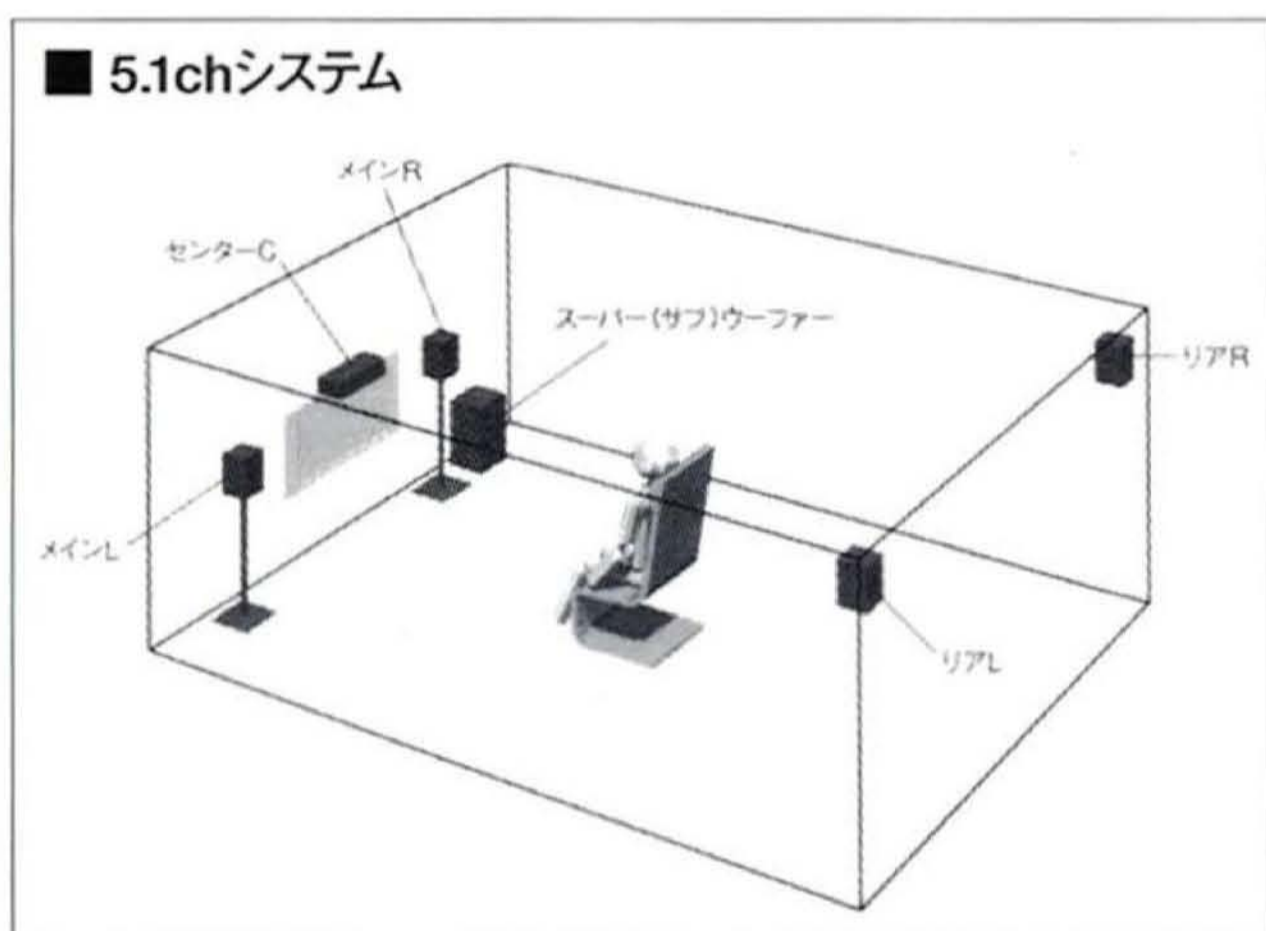
一方、LDソフトに関してはアメリカで97年の1月に「ジュラシック・パーク」のDTS盤が発売されて以来、順調にタイトル数を増やしており、今年1月までユニバーサル作品を中心にアメリカで約116タイトルが、日本ではパイオニアLDCから、21タイトルがリリースされている。DVDはパイオニアLDCのアニメ「天地無用」シリーズが第1号リリースであり、その後洋画タイトルと続きこのエクスペリエンスが

第3弾である。アメリカでは、99年1月から市場導入が始まり、ユニバーサル作品を中心に28タイトルが5月までにリリースされる予定。転送レートの制約を受けにくい2層方式で作られるディスクが多く、画質も音質も大いに期待できる。

チェック信号の使い方/インターフェイス

DVDプレーヤーの背後にあるdts出力端子により、光か同軸のケーブルでdtsデコーダへ接続する。実際には、そのインターフェイスはドルビー・デジタルやリニアPCMと共用である。つまり、ケーブルは1本で済み、AVアンプ側でドルビー・デジタルかdtsかの自動認識するのが普通だ。

スピーカーの配置やサイズ設定、スーパーウ



ーファーがない場合の各チャンネルへの振り分けなど、実際の再生における具体的な設定は、dtsは何も指示していない。したがって、それらの設定はドルビー・デジタルの再生時に必ず

行うアロケーションの詳細設定に代替してもらおう。リアスピーカーに関するディレイタイムの設定も同じである。

本ディスクでは、dtsモードでの音場の正確な再現を再確認するため、各種の音声テスト信号を収録した。まず各スピーカーより1kHzの正弦波が再生される。画面上のスピーカの位置と連動しているので、実際に再生されているスピーカーと映像が一致することを確認すること。

前方左右の2つのスピーカーから1kHzの正弦波が同位相で再生される(サブウーファーは100Hz)。映像が再生されているスピーカーの、ほぼ中央に位置していることを確認する。これはファントム音場の確認である。

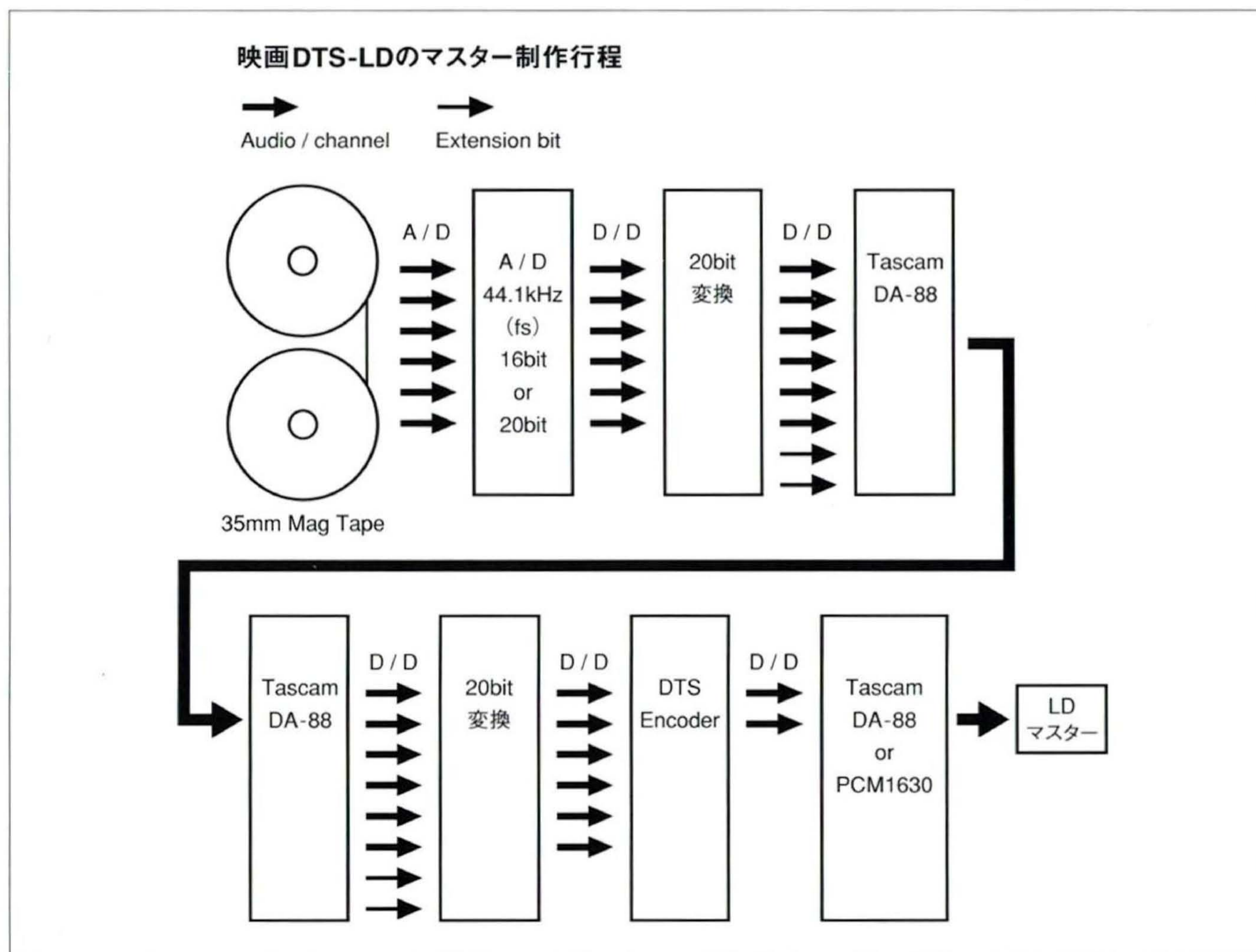
各スピーカーよりピンクノイズが再生される。各スピーカーからの音量が、ほぼ同じになるよう調整すること。これはチャンネル間のバランス調整である。

次に、前方チャンネル間の音像確認。スピーカーから画面にあわせて音像が移動する。ここ

では左、中央、右に移動するピンポン球の音で、前方3チャンネルの間の音像移動を確かめることができる。左右でラケットが弾き、中央で台に着地、反発する。移動体の動きにあったスムーズな音像移動であるかを確認しよう。

後方チャンネル間の音像移動は、足音のコツコツというサウンドの動きでチェック。後方左から右へ歩く足音が移動する。それが後方右スピーカーで止まりドアが閉まると、今度はボーリングが始まる。後方右から前方右へ、ボーリングの球が重い響きを残して回転し、爆走する。前方右チャンネルに達すると、次にヘリコプターが後方左から登場し、前方右方向に頭上を横切って斜めに飛行し、消えていく。各チャンネルの分離が完全なディスクリット・マルチだから、正確な音像移動がダイナミックに再現されるのだ。

dtsのサウンドはすべてのチャンネルに渡りダイナミックレンジが広いのが特徴だ。だから、使用するスピーカーも、音の剛性感が高く、安定した再現が得られる製品が望ましい。



内容紹介

各クリップ映像はSTEALTHを除き16:9ディスプレイ用のスクイーズモードで収録されている。ワイドテレビの場合は、フルモードの伸張画像に自動的にアジャストされる。4:3ディスプレイでのモニターは、DVDプレーヤー側でアスペクト比を「レターボックス」にすること。音声はdts5.1チャンネルと、リニアPCM2チャンネルの2とおりで収録されている。本ディスクの冒頭のメニュー画面で選択できる。

STEALTH (Mainshow)

ExMachina/iWERKS ENTERTAINMENT

エックス・マキナというフランスのプロダクションが、アメリカのiWERKSシアターの体験ライドコーナー用に制作したコンピュータ・グラフィックス。ステルス戦闘機が飛び立ち、敵基地を攻撃し、敵機と交戦、航空母艦に着艦までの息も詰まるような、ダイナミックな飛行が、前方に飛ぶステルスの見えた目映像で体験できる。強烈なアタック音、脳天にビンビン響く交信音……まさにエネルギー全開のサウンドイフェクトが360度、立体的に展開するのである。映像は浮遊感を味わえるように動きの節々が演出されており、それは大画面であればあるほど、楽しめる。

dtsならではの音の剛性感、太さ、サラウンドへの正確な回り方などに快感を覚えるに違いない。交信音が頭上に定位するのも、コックピットで操縦している現場感覚そのものだ。

DI-GIDDY

PIONEER LDC, INC.

DVD-Videoの実験作品。パイオニアLDC社内の検討用として制作されたコンピュータ・グラフィックスだ。未来都市を快走する体感映像である。ひろびろとした遊園地ではなく、過密都市のなかのジェットコースターを地面すれすれに物凄いスピードで爆走する快感とスリル。縦横に駆け抜ける映像の飛びつき、SEの切れ味……など、“非現実的なリアリティ”が聞きもの。16:9のワイド映

像だから、ぜひ大画面で楽しんで欲しい。このサウンドの再現は、レンジ感の広く、力感のあるスピーカーが相応しい。

グスコブドリの伝記

PIONEER ELECTRONIC CORPORATION.

パイオニアのDVD-Videoデジタルピクチャーシリーズ第1弾の作品からの抜粋。デジタル・ピクチャー・シリーズは静止画と立体音響で綴るアニメーションで、「サウンドから映像を想像する」というのが、そのコンセプト。本作品は宮沢賢治晩年の最高傑作を5.1チャンネルサラウンドと静止画を中心にした映像で再現したもの。ボイスドラマCDのオリジナル作品をベースにアニメーション映像を加え、さらにサウンドを5.1チャンネルの立体音響でリメイクした。幸せの国を探しに出かける主人公のグスコブドリが、イーハトーブで苦悩し、また活躍する姿を、描く。火山の噴火に際しての、緊迫感溢れるやりとりを、dtsの剛毅なサウンド演出力はどう再現しているか。

Gaia's Daughter

PIONEER ELECTRONIC CORPORATION.

DVDメーカーである、パイオニアがソフトを制作すると、ここまで高画質・高音質なものができると評価された映像詩。「Gaia」とは、ギリシャ神話に登場する大地の女神である。その女神に娘がいたら……という設定で、全編オーストラリアの大自然でロケ。ハイビジョン撮影だ。音楽は、シンセサイザーではなく、生のフルオーケストラでの演奏である。映像は自然の世界なのだから、音楽も電子楽器など一切使わずにオーケストラのみで表現しようというのが制作者の思いである。音楽は大島ミチルさん。dtsならではの音の厚み、充実感、アコースティック楽器の再現性に息を飲みこんで欲しい。

PERFECT BLUE

Rex Entertainment Co., Ltd.

今敏十マッドハウスというコンビが、大友克洋十江口寿史の協力を得て放つサイコサスペンス。各国の国際映画祭で「アニメーションの枠を超

えたエンターテインメント」と高く評価された。ダイアログの明瞭度はどうか、それをセンタースピーカーがいかにも再現するか、肉声感はどうか。雨音を中心にした後方に回るSEの臨場感、現場感覚は……などをチェックしよう。

エンディング

本ディスクは基本的に先行発売されたLD版「DTSエクスペリエンス」に拠っているが、このエンディング・ミュージックはDVD用に再レコーディングされたオリジナルである。

dtsフォーマットが音楽再生にいかにもふさわしいかを聴いていただきたい。アコースティックと電子楽器のコラボレーションの制作は、エンディングにクレジットされているサウンド・スタッフの面々。トランペット、ギター、サクソ、パーカッションのアコースティック楽器、エレクトリックピアノをモノラル的に各チャンネルに振り分けながらも広がりを持つ、自由な発想での空間を演出している。

LDはエンドクレジット用として作曲されたが、5分間のうち2分しか使用されなかったこの曲を、DVDでは生楽器を中心とした再レコーディングで実現した5分の完全版である。全トラックが48チャンネルを超えるミックスを経て完成したサウン

ドが、dtsならではの多層的な音像空間を形づくっている。音に包まれる感覚だけでなく、それがしっかりとした音像を持つという快感を味わって欲しい。音場音楽という新しい境地を拓くものだ。

「dtsは単にアンビエントをサラウンドに流すだけでなく、完全に各チャンネルがディスクリット処理で独立していますから、柔軟なサウンドメイキングが可能になります。各楽器のサラウンドでの振り分けも自由ですから、発想の広がりをおのままサウンドにできるのが最大の魅力ではないでしょうか」とAlan Persons氏は、言った。またdts社のマーケティング・ディレクター、David DelGrosso氏は、「これまで2チャンネル録音が一般的だった



David DelGrosso

音楽CD、5.1チャンネルの作品が加わるというのは、とてもエキサイティングであり、音楽を描くキャンバスが拡大されるわけだから、アーティストの音楽表現の可能性がより一層広がるのは間違いありませんね」と、その可能性を述べた。

解説：麻倉 怜士 (1999年1月21日記)

- DTS音声の再生にはDTS信号出力端子を装備したDVDプレーヤーと、DTSデコーダー、もしくはデコード機能を内蔵したAV機器をご用意ください。なお、お手持ちのプレーヤー、デコーダー等のAV機器は、各取扱説明書をご覧ください、正しく接続・操作してください。
- また、DTS音声はドルビーデジタル音声に比べ、高い音量で記録されていることがあります。視聴にあたっての音声切換えは、音量差に十分ご注意ください。
- ▲DTS非対応プレーヤーでは、誤動作をする可能性がありますので、DTS音声を選択しないでください。

16:9 LB*

- 16:9画面サイズで収録されています。プレーヤーの画面サイズ切換え操作によって、4:3サイズの画面を表示することができます。
- 画面サイズ切換え時には、4:3レターボックスとなります。

4:3

- 4:3画面サイズで収録されています。

NTSC
日本国内用

- このディスクは、特定の地域についてのみ再生できるよう作成されています。従って販売対象として表示されている国や地域以外で使用することはできません。

〈取り扱い上のご注意〉●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等をつけないように取り扱ってください。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないでください。●ひび割れや変形、または接着剤で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないでください。●直射日光の当たる場所や、高温、多湿の場所には保管しないでください。●ディスクは使用後、元のケースに入れて保管してください。●プラスチックケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

●このビデオグラムは、一般家庭での私的視聴に用途を限って販売されています。したがって、無断で複製、放送、有線放送、上映、レンタル(有償・無償を問わず)することは法律によって一切禁止されています。